



# 佐賀県中小企業家同友会

## ニュース vol.03

発行

佐賀県中小企業家同友会

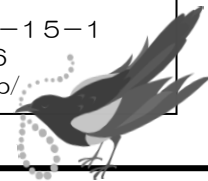
代表理事：河谷雄二 編集：事務局

〒840-0015

佐賀県佐賀市木原3-15-1

TEL0952-27-7856

http://saga.doyu.jp/



### 2016年 佐賀県同友会 20周年 300名

2013年度役員研修会  
6/22(土)~23(日) 鹿島市「ひらたに」

中同協副会長 中村高明氏・福岡で十二年連続拡大記録を持つ中村美賀子前福友支部長の報告を行いました。「同友会を経営に活かした」第一人者による報告で大いに学びました。



お二人の経験から、自社の経営と同友会での活躍は正に「不離一体」学び、活かし、企業を繁栄させた経験で、参加者十一名は奮起しました。また、河谷代表理事より上記の数値目標、併せて、**全会員企業が黒字経営**を行う方針、計画を改めて提示し、全員一致しました。大自熱に囲まれた懇親会でも大いに盛り上がり、当日誕生日の安永支部長の奥様の飛入参加など、楽しい時間を過ごしました。決意を再認識し全会員で佐賀同友会を盛り上げて行きましょう！



六月一八日(火)鹿島市「清川」にて、今年度2回目の全県例会を(株)シティライン 田浦社長(福岡同友会代表理事)を報告者として開催しました。

「人生二度ないよね」…経営指針書の作成 昭和五八年二九歳で創業された後、様々な困難に出会った中で同友会に入会。経営指針書作成セミナーで(株)キースの長谷川氏、富士食品の井上氏から学び、一期目の経営指針書を作成。

最初の発表会では冷やかな目で聞いていた社員らが、発表会終盤には、我が社が変わる事を実感し、目がキラキラし、熱をもった雰囲気変わった。実際、指針書



(株)シティライン 田浦 通社長

「会社の年表」…社員と共に、新しく入ってくる社員さんに向けて、我が社が求める人物像をはっきりと示し、経営指向(思考)をもった社員として働いてもらうため、それぞれの現場での動き・流れを掴んでもらうために経営指針書と共に、年表は機能している。自社の強み・弱みを客観的に読み取るためのSWOT分析や、残業時間も1分単位で計算していくことでそれぞれにコスト意識をもたせることが必要。また、財務諸表も開示したが、

企業家・同友会理念の体現者たれ！全県六月例会「鹿島開催」

「一度きりの人生を懸けても惜しくない企業づくり」  
「貴方は何のために経営をしていますか？」

を作成した後には仕事での空回り「作業ロス」が減り、これが売上増につながった。経営指針書を作っている会社と、指針書を作っていない会社では利益に差がでてる。

最初に経営指針書を作成した当時は現在のようにインターネットもなく、先輩らが作成された指針書を真似して書いてみた。数回の行内内、どうもしっくりこなかった。やはり「自分の中にある言葉」を拾ってこなければ会社に対する思いが伝わらないし、社員の心にも染みていかないために、完全オリジナルの経営指針書を作成、発表を行っている。

会社を運営して得意先十社は10年未満でほとんど残っていないというのが常で、取引先が変わると客単価も1/2に下がる。そのような業界の中で生き残るにはオンリーワンの企業になること。そのためにも経営指針書の作成は不可欠。

#### 今月のあいさつ



代表理事：河谷雄二

新年度も早や3カ月経過。様々な取り組みがレール上を走っていますが、レールは敷くまでが大事です。どこを走ってどこに向かうか？  
あとは走るのみ！



会社で使う数字が解らない社員が多かった。数字自体がわかりにくいのではと感じ、半年間、ビジネス大学に通い、社員さんにもコスト意識を持ってもらうために定期的にテキストも実施している。

田浦氏と一緒に育つ「共育ち」の言葉に、田浦氏の会社への愛情・想いが詰まっている事を感じた。

記事作成：吉末博昭(中央支部)

よい会社 よい経営者 よい経営環境をめざす  
佐賀県中小企業家同友会

## 7月例会のご案内

『21世紀型中小企業づくりをめざして』

～我社の経営革新の取り組み～



(株)アイル  
代表取締役 樋口 康治氏  
(福岡同友会代表理事)

建設足場工事、足場材レンタル業。資金繰りに窮し、社員に協力を仰ぎ、見事黒字に回復させた。「社員のための会社をつくろう」と決心し経営革新を行う。全社員数23名

- ◆開催日： 2013年7月18日(木)  
18:00 開場 18:30～21:00
- ◆会場： 「魚半」  
佐賀県唐津市浜玉町浜崎 1669-55
- ◆参加費： 無 料
- ◆懇親会 (有志のみ) 21:30～  
同会場にて ¥4,000 程度

ご回答は別紙回答用紙か e-doyu もしくは info@saga.doyu.jp にてご回答ください

# ピカ1! さがどうゆう

No. 0002

(有)松本材木店 代表取締役 **松本 清孝さん**



鹿島市にて、一般建築材、土木用・農業用資材、杭・丸太、鋸屑（畜産用）製造。特種長材、杉・桧・松・外材など。

■資本金：5000千円 ■売上高：80000千円 従業員数：6名（パート1名）

★これまで・・・祖父・父・そして松本氏の三代で50年間続く一般木材製材所。高校卒業より30年以上勤め、平成15年に社長に就任。

創業当時は、多良岳の連なる山林を購入「黄金の山」と言われた様にとにかく売れた。九州各地へ材木は流通し、多くの製材所が鹿島市にはあったが、高度成長期を終え、様々な業務転換や廃業で現在では4社程度。その厳しい時代でも、鹿島駅前前の社屋を業務拡大により現在の広大な敷地に移動した。祖父、父の意思を継ぎ、口数はすくないがとにかく、まじめに仕事をする社長だと奥様も語る。

★「主力商品」・・・一般木造建築用の材木をメインで行っており、殆どが建築会社からのフルオーダーにて、様々な数量、形状に対応できるのが大きな強み。住宅建築数の減少により大きく市場が変化することは無いが、加工技術を活かして、他社ができない神社や仏閣の特種材木製造を取り組んでいる。



→事務所になると創業の祖父が地をこたくれる(岡本義興社長作成)



★これから・・・とても元氣な奥様と二人三脚でオンリーワン企業を目指す。自然に活かされている事業だからこそ、環境と地域を守り、感謝していると松本氏は話す。経営指針書は只今作成中。作成塾受講後、悩みに悩んで現在に至るので、目下の課題。

★さがどうゆうの皆さんへ・・・お誘い!

夏休みに3年目を迎える「木工教室」を行います。佐賀県産材木を使い、佐賀の材木に親しみ、小学生のお子様を対象に踏み台やスノコを作ります。会員、社員さんの皆さんも参加しませんか！お子様は宿題づくり、ご父兄は夏の日の思い出づくりしましょう！

日時：平成25年8月18日(日)9:00~12:00  
会場：松本材木店 鹿島市納富分甲113  
参加費：¥500（軍手、タオルを持ってきてね!）

■お申し込み先  
・・・松本材木店 0954-62-2725



## ■新入会員さん紹介・会員データ変更■



(有)坂井商店

取締役 **坂井 茂夫 氏**

産業廃棄物収集運搬、処理、解体工事、建設資材販売

(中央支部 推薦者 谷田政行氏)



(株)Y. Kカンパニー

代表取締役 **本田 和也 氏**

農業・・・水菜、小松菜、ほうれん草などを主に栽培

(西支部 推薦者 平田憲市郎氏)



## 2013年度 第2回理事会議事録

開催日：06月06日(木) 会場：アバンセ

- 1 開会(19:02)
- 2 議長選出：議長：河谷代表 進行：林専務理事  
議事録作成人：事務局長 署名人：吉末理事、松本理事
- 3 定数確認：出席者9名、委任11名にて成立
- 4 代表理事挨拶：河谷代表理事
- 5【報告事項】  
5月例会の総括・支部活動報告・行事報告・会費の納入状況

- 6【審議事項】  
(1)入退会の審議  
入会承認：(有)坂井商店 取締役 坂井茂夫氏  
(株)Y. Kカンパニー 代表取締役 本田和也氏

退会承認：しもむら農園 下村宣弘氏 牛島配管工事 牛島テツ子氏

<審議後の会勢> ・81名 定時総会より▲1名 ※休会者：16名

- 7【協議事項】  
6~9月例会企画・役員研修会・10月ビジネスネットワーク例会・20周年行事の協議を行った。  
全員発送広告募集について：広告募集を行い、発送経費を賄う事を提案、これを承認。

- 8【連絡事項】  
・行事予定  
・審議決定事項の確認・監事講評：欠席のため省略  
・情報交換会(進行：河谷代表理事)を行い 閉会した。



## 7月の行事

- 4(木)・全県理事会
- 9(火)・中央 理事会
- 10(水)・南 理事会
- 11(木)・西 理事会
- 11~12 全国総会
- 13(土)たけのこ会  
(経営指針塾08会)
- 20(土)・経営指針作成塾
- 18(木)・全県例会
- 6(土)・福呼込経営塾

## 8月の行事

- 1(木)・全県理事会
- 6(火)・中央 理事会
- 7(水)・南 理事会
- 8(木)・西 理事会
- 20(火)・全県例会
- 17(土)・経営指針作成塾

月に一度の例会には参加しましょう!

平成23年にNHK「ためしてガッテン」で紹介された話題となった「すり鉢茶」を「ご存じですか？」お茶の渋みを和らげるための方法が深蒸し。長時間蒸すことで成分が普通のお茶より出やすくなるそうです。深蒸し茶と同様に健康成分も得られる「すり鉢茶」はお茶の葉をすり棒ですりつぶして、こして飲みます。この「すり鉢茶」を気軽に楽しむために伊万里陶芸(西支部会員)さんが開発されたのが「すり鉢急須」です。急須の内側がすり鉢状になってるので手軽に「すり鉢茶」が出来ますよ!  
ホッとする時間。

